

日 時	令和3年9月9日(木) 15時30分～17時40分
出席者	【市長室】市長 【副市長室】副市長 【情報交流センター】総務部長、企画部長、会計管理者、財政課長、政策秘書課長、総務課長、行政経営課長 【北浦庁舎】教育長、教育部長、経済部長、学校教育課長、農林水産課長 【玉造庁舎】市民福祉部長、建設部長、議会事務局長、社会福祉課長、都市建設課長 【事務局(情報交流センター)】
場 所	ビデオ会議システム(市長室、副市長室、情報交流センターホール、北浦庁舎第1会議室、玉造庁舎第1会議室)

内 容

1. 開会 政策秘書課長

2. 挨拶 市長

今回の議題である2つの計画は持続可能なまちづくりを目指す計画として大きく関連しているので一緒に掲示し議論することとした。

これからの5年間、目標を達成できるような施策を着実に実行していかなければならない。そのためには、職場間の横の連携と、職員一人ひとりが当事者意識をもち事務事業を執行していくことができる体制を構築することを願いたい。

3. 議事 進行:企画部長

① 総合戦略(改定版)素案について

● 説明(企画部長)

- 方針については、これまでどおり将来像、3つの基本理念、5つの重点プロジェクトを引き継いでいく
- 社会状況の変化を見据えP8の視点を追加
- 基本目標とSDGsのゴールに紐づけている。
- 各施策については、100人委員会、各課との協議を行った。
- 本日は意見提出シートとりまとめ赤字部分について協議を行いたい。

● 全体的な整理について協議(とりまとめNo.38-40)

➤ 副市長

- ◇ 記載の通りである。そもそもの総合戦略の考え方。市民と一緒に作り上げ、市民に分かりやすく伝えていくことが、約束事としてあった。そうしたところ、施策の概要のところを見ていくと簡潔に伝わらないのではないだろうか。担当課とどのような形で、事前に話し合い、議論してきたのか、見えにくい。このような疑念から1点目として
- ◇ 2点目、施策の増加数については、今期までどのようにやってきたのか検証し、その

結果を後期に求めていくものであるが、施策が増加しているということは拡大戦略になっていないか。アフターコロナで新しい施策を実施することは必要であるが、ここで大きくしていくことは現実的には難しいのではないだろうか。仮に大きく出したとしても優先順位をつけてどのように4年間やっていくのか明確に示す必要があるのではないだろうか。

◇ 3点目については、前半はどこまで検証を行ったのか。目標実現シートを作って検証をしたということであるが、実施事業レベルでどこまで記載するのか。

➤ 企画部長

◇ アフターコロナの中で、ある程度やっていきたいという各課のご意見を優先的に入れさせていただいている。

◇ 見方によっては、羅列、バランスが悪いところもあろうかと思うが、各部についてご意見を頂きたいと思う。

➤ 総務部長

◇ 特になし

➤ 市民福祉部長

◇ 施策数は多少入れ替えがあったのかなと見ている。中身的には良いかと思っている。

➤ 教育部長

◇ 今回は7つの施策ということでわかりやすい表現で作成をしている。やっていることが多くなっているわけではないが施策を具体的に記載したことから多くなった。

➤ 経済部長

◇ 具体的に取り組んでいる内容に近い項目出しをしているかなと思っている。

➤ 企画部長

◇ 概要の再構成をさせて頂きたい。その点については、みんなで作る計画なので、今後できる範囲で調整し、市民に伝わりやすいように見直しを行ってもらえばいい。

➤ 教育長

◇ 教育部長の補足、今まで教育委員会は、施策は1つしかなかった。それでは伝わらないし、わからない、具体的に示させていただいている。気づいた点や他の部との調整があれば伝えてもらいたい。

➤ 市長

◇ 各部で行ってほしいことは表現の仕方もあるが、基本的にはプロジェクトは大項目として実際にやることは中項目ぐらいで考えてもらいたい。全体的に網羅できればいいので、詳細は実施計画でやればいい。

◇ 各プロジェクトにおいて、目標値、施策において、元データはきちんと整理しておくこと。もっと大前提とすると総合戦略では、市民生活と結びつくような表現になっているのか。総合戦略が市民生活に直結しているということが分かるような記載を上手く入れてもらいたい。要は市民に何を伝えていく総合戦略になるのか。総合戦略が実現されていくようになれば、どのような行方市になるのか気づいてもらうためにはどういった表現をすればいいのか。市民生活に直結した計画書として見てもらいたい。厚くないので、見てもらうことが重要であるが、理解してもらうことが最も重要である。

目標値を達成することでどのような行方市になるかをわかりやすくして貰いたい。

➤ 企画部長

- ◇ 各部の事業について、行っていただくとともに目通しをいただければと思う。

● 成果指標の考え方・見せ方について協議（とりまとめNo.41）

➤ 企画部長

- ◇ 根拠、目標値はデータに基づいて設置をしていると思うが、共通認識がはかられていないのではないかなと思う。皆さんのご意見をお伺いしたい。

➤ 経済部長（とりまとめNo.42）

- ◇ No.42 の指摘にある、数値目標であるが、人口減少を踏まえて農業産出額を守っていくことが、現実的な数字である。その代わり、個々の農業産出額では増えているので、これを加えて目標として農家経営にプラスにして見せたいと考えている。

➤ 教育長（とりまとめNo.43）

- ◇ 成果指標で実績と目標が100%としているところがあるが、内容的に次のステップに行かなくて良いのか。現状を維持するが目標にしているが、100パーセントのものは目標設定が低いのでは無いのかなと感じたので、目標指標を設定するに当たり、なぜこれにしたのか不明確である。100パーセントは次のステップへ行くべきだ。

➤ 企画部長

- ◇ 拡大路線と関連していると思うが、実績が目標を達したものは次のものにしたいほうが良いのでは無いだろうか。表現の仕方の整理をしたほうが良いのでは無いだろうか。

➤ 市民福祉部長

- ◇ 行政の方、地域の方と分けているのでわかりやすいが、基本目標の中の実績値がわかりにくい。素案P32 のプロジェクトの中で、成果指標が細かいので中身を見ていただけるのかなと思い記載をした。

➤ 副市長

- ◇ どういうポイントでまとめるかだと思う。事業シートレベルで考えるときの数値と、市民に分かりやすく伝える数値を整理したほうがいい。たくさん出していればいいとも限らない。例えば、CS 顧客満足度は一つの方法であろう。個別のお試し住宅の利用率などもある。市民目線で見たとときに、どの基準で考えるか。担当の視点だけではなくて、市民の視点で考えてはどうか。また、事業シートの成果としての役割として整理してもいいのではないだろうか。

➤ 市長

- ◇ 先ほどの副市長と被っているが、市民アンケートを毎年とっていると思う。蓄積があって、100人委員会と連動性があるだろう。市民アンケートはマーケティングの思考で、市民がどう思っているのかが分かる。全体像の行方市が見えるのでは無いだろうか。例えば、幼児の方から、90歳の方まで計画上に載せるのもわかるが、詳細は振られると思う。元データが市民アンケートである。施策は年代別によって変わるであろう。0歳児から5歳児までの施策はこうだね。6歳からは18歳まではこうだよ

ね。18から75歳はこうだよ。いわゆる市民生活別、年代別、業種別がどうクロス的に見られているかが見えない。本来であれば、また・ひと・しごとの会議はどう関わっているかの表現を1枚のペーパーに出してもらえるとわかりやすい。今後市民説明や議会説明においても裏付けが必要になる。わかりやすいものになる。

- ◇ 5番目の40ページにおいては、プッシュ型が表現されているが、分かりやすくしないとならない。
- ◇ 47ページ総合戦略の分野別の一覧がどう紐付けされているのかが一番重要である。いろんな計画を作っているが、総合戦略とどのように紐づけられているかわかりづらい。どういう流れで当てはまって行くかの表現があっても良いだろう。その方が、各分野においての計画が、ただ単に計画を作っただけと思わせないものになる。生活と直結しているというもの。表現の仕方、連動性は忘れないでほしい。市民の生活様式に合わせて、総合戦略の施策をつくりまちづくりをやっていこうと思っている。その効果は市税として現れるのではないだろうか。各部長、部署においては、関連性やどの立ち位置なのかよく考えてほしい。施策、管理、そういうところを意識してもらえれば、積み上げのものの一つになる。各部署は表現の仕方を考えてほしい。

➤ 企画部長

- ◇ 分野別との連動性については、事務局と調整をさせていただきたい。
- ◇ 市民アンケートの説明、整合性、確認、協議をさせていただきたい。
- ◇ 全体的に見直しをさせていただきたい。

● 土地利用の基本的な方向性について協議(とりまとめNo.10-11)

➤ 企画部長

- ◇ 水辺交流ゾーンは全体的にゾーニングしている。
- ◇ 田園都市ゾーンは農振区域がほとんどであるため市全体を指しているが、協議していただきたい。

➤ 経済部長

- ◇ 田園都市ゾーンが全体であるのは微妙。入れなくてもいいのかなと思う。

➤ 企画部長

- ◇ 削除する。

➤ 建設部長

- ◇ 2点ほど書かせてもらっている。土地利用の基本計画については、説明いただいている。異論があるわけではない。水辺交流ゾーン霞ヶ浦はりりんロードで線を引いているのも理解できる。自転車の活用推進計画を練っているところなので、サイクルルート線を線引きしていると認識しているが、ゾーンは地域、エリアと捉えてしまうので、サイクリングロードとして表現しても良いのではないだろうか。サイクリングルートだと施策になってしまうので、ゾーンでよければそのままでもいいのではないだろうか。
- ◇ PA関連で色を塗ることに異論はないが、候補地は、県道水戸・鉾田・佐原線のところと、国道354号線の交差点で検討されている。国の説明では、経済性で考えれば、水戸・鉾田・佐原線に落ち着くのではと思うが、確定していないので、全協で図ると

きは、確定はしていないと申し添えを行ってほしい。

- 総務課長
  - ◇ 田園都市ゾーンは農業関係のエリアがあるということであれば、いらないのかなと思う。
- 農林水産課長
  - ◇ 田園都市ゾーンは塗らなくてもいいのではないだろうか。
- 企画部長
  - ◇ 水辺交流については残したいと考えているが、りんりんロードの表現の仕方がマッチするかは、ご理解をいただければ検討を行いたい。
- 教育長
  - ◇ 地域振興施設は先に話が出たあたりでお願いしたい。
- 副市長
  - ◇ 地域振興施設は過疎地域でもハイウェイオアシスと書いているので合わせて協議したい。
- 市長
  - ◇ 大丈夫である。
- 企画部長
  - ◇ 修正したものを送らせていただいて、協議の場を設けさせていただく。成果指標について、細かいこと書いているが、個別に調整し、全体的整理する。

② 今後のスケジュールについて

- 別紙スケジュール共有

4. その他

5. 閉会